

親子で



市場で“食品Gメン”体験！～札幌市中央卸売市場～

流通

新鮮な魚や野菜が各地から集まってくる「札幌市中央卸売市場」は“札幌の台所”です。

まず、市場内を歩いてセリの様子やマグロの解体を見学し、低温管理されている魚やタコの管理状況をチェック。次に保健所の検査室で機器を使って検査体験。また、「手洗いチェッカー」で手の洗い方を確認したり、市場で行われている食の安全の取組を学びました。



見学先 札幌市中央卸売市場（札幌市中央区北12条西20丁目）

日時 平成25年8月6日 6時30分～11時30分

参加者 小学3～6年生の親子8組16名



子ども

参加された方の声（参加者アンケートから）

大人

- 食べ物に色々な菌がついているとわかり、これから気をつけようと思った。
- 手の汚れを調べる実験が楽しかった。
- 大きなマグロの解体ショーが一番面白かった。

- 放射性物質の検査をしてくれていることを知って安心した。
- 朝早くから、多くの方が関わっていた。これを機に食の安全を意識して生活したい。
- “いのち”を守る仕事でふつうの暮らしが守られていると実感した。

おしらせ

◎“食品Gメン”とは？

札幌市保健所や保健センターにいる“食品Gメン”は約70名。飲食店やスーパー、食品工場などの立入や食品の抜き取り検査のほか、食中毒の調査、市民の皆さんからの相談対応など、札幌市の食の安全を守るため日々働いています。

札幌市中央卸売市場を担当する食品衛生監視員は、毎朝4時45分から、市場での取引が始まる前に、毒のあるキノコや山菜、魚介類が混入していないかなどのチェックを行っています。

◎「しろくま忍者の手洗いソング」で正しい手洗い覚えよう！

食中毒予防の基本は、なんといっても“手洗い”です。

札幌市オリジナル「しろくま忍者の手洗いソング」は歌と踊りで楽しく手洗いの方法を覚えることができます。食中毒・感染症予防、食育に活用しましょう。



動画公開中！

動画サイト
YouTube



札幌市
HP



CD・DVD 貸出中！

札幌市保健所食の安全推進課
札幌市内の各保健センター
札幌市中央図書館